

沼 都 政 第 1 0 5 号  
令 和 0 5 年 1 2 月 1 5 日

国土交通大臣 殿

沼津市長

社会資本総合整備計画について

「社会資本整備総合交付金に係る計画等について」第1第1項に基づき、別添のとおり社会資本総合整備計画を取りまとめたので提出する。

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年12月15日

計画の名称	ヒト中心の公共空間の創出												
計画の期間	令和06年度 ~ 令和10年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	沼津市												
計画の目標	沼津駅周辺を車中心からヒト中心の空間に再編し、ヒトが居心地よく過ごすことのできる空間をまちなかに創出することで、生活の質・住みやすさの向上によるまちなか居住の促進を図るとともに、 公民連携により拡大した歩行者空間等の利活用を推進することで、まちのにぎわいや経済活動の活性化を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,846	A	1,846	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5末		R10末
1	都市基盤整備による中心市街地の空間的魅力が向上し、近年減少傾向にある中心市街地における歩行者の通行量(賑わい)の増加を目指す。 中心市街地歩行者通行量	75052人	人	106169人
2	安全かつ安心で快適な生活ができる居住空間を整備することにより、市民の満足度を高めることで、居住人口の確保を行う。 沼津市に暮らし続けたいと思う市民の割合	79%	%	87%
3	鉄道高架事業と一体的にまちづくりを推進することで、本市のまちなか居住における価値を高め、近年低下している地価を上昇させる。 中心市街地での地価における上昇値	228000円	円	258000円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R06	R07	R08	R09	R10						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	沼津市	直接	沼津市	-	-	沼津駅周辺地区都市再生整備計画事業(まちなかウォークブル推進事業)	滞在環境整備に関する調査等	沼津市						1,846		-			
												小計						1,846				
											合計						1,846					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： ヒト中心の公共空間の創出

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 1) まちづくりの目標が上位計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について公表することとしている。	○